

Career Interview

自治財政局財務調査課財政健全化専門官

脇本 篤

WAKIMOTO ATSUSHI

- 平成 9年 4月 自治省採用
大臣官房会計課
- 平成 10年 4月 行政局選挙部選挙課
- 平成 11年 4月 奈良県企画部地域振興課
- 平成 12年 4月 同 総務部市町村課
- 平成 13年 4月 自治体国際化協会総務部
- 平成 15年 4月 同 ニューヨーク事務所所長補佐
- 平成 17年 4月 同 シンガポール事務所所長補佐
- 平成 18年 10月 同 総務部企画課主査
- 平成 19年 4月 総務省自治行政局自治政策課
地域情報政策室電子自治体推進係長
- 平成 20年 4月 自治財政局交付税課交付税第二係長
- 平成 21年 4月 自治財政局交付税課交付税第一係長
- 平成 23年 4月 地方公共団体金融機構管理部庶務課庶務係長
- 平成 24年 4月 総務省自治財政局交付税課主幹
- 平成 26年 4月 芦屋市総務部参事(財務担当部長)
- 平成 30年 4月 現 職



地方を知ること、 日本を知ること



【今、そしてこれから】

経験を生かしていくということ

現在は地方自治体の財政の健全化に関する仕事をしています。健全財政は持続的な住民サービス提供のための基礎となるものです。財政健全化のため、これまでの経験も生かしつつ、地方自治体に必要な助言等を行っています。過去の様々な経験は、全て今の仕事に生かすための経験です。今の仕事の経験もこれからの仕事に生かすための経験となります。過去を今に、今をこれからのに、しっかりと生かしていくのも我々の責務です。

【係長時代】

外国で日本を思う

係長時代には、海外勤務で途上国の地方行政支援の仕事に携わりました。あるべき地方行政の形は、その国の歴史や文化等に応じて自ずと異なります。しかしながら、地方の発展なくして国の発展なしという思いは、諸外国政府職員も同じです。彼らと何度も何度も熱く楽しく語り合ったのは一生の宝物です。諸外国政府職員との議論は、日本のあるべき地方行政の形と改めて向かい合う機会でもありました。

【係員時代】

先輩からの一言

「分からないことは分からないということ」最初の地方勤務をした県庁の先輩職員から言われた一言です。分からないことばかりの人間にはこれほどありがたい温かい言葉はありませんでした。多くの方々に質問攻めにしながら、地方の現場を体感する中で、地方行政を学ばせていただきました。

Message

社会人になると定年退職するまで、単純計算で平日1日24時間のうち約8時間仕事をするようになります。換言すれば、仕事をするということは、社会人人生の約3分の1をどう生きるのか、ということと同義なのです。人生の3分の1を、国の発展のため、地方の発展のために生きてみませんか？